

第35号 NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
Newsletter 2024（令和6）年12月8日 発行

のばす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒475-0817 愛知県半田市東洋町1-8 アイブラザ半田109, 110号室

☎ 080-1622-5717

代表理事 村瀬 明子

✉ E-mail nobasukai1993@gmail.com

web http://www.f-school.jp/nobasukai/



アニマルセラピー特集

子どもたちの傍らに動物のぬくもりを

10年ほど前、伊藤八千穂先生がのばす会を紹介していらっしゃる新聞記事が目に残りました。私は”動物たちが開く心の扉：グリーンチムニーズの子供たち”という書籍が心に浮かび、失礼も顧みず八千穂先生に連絡をさせていただきました。まさに”のばす会 アニマルセラピー”発動のきっかけとなった1日です。当時、アニマルセラピーと言っても知名度も低く、ご理解いただくために手作りの紙芝居”アニマルセラピーってなあに？”を持



参して活動を売り込みました（笑）。長い年月の間に子供さんたちは次々と卒業し、犬たちも代替わりをしました。当時可愛がって下さったみなさんの言葉やエピソードは今でも心深くに刻まれていて、いつも私達を後押ししてくれます。

紹介させていただいた子どもの長期療養施設”グリーンチムニーズ”では、未来を担う子供たちと動物を心でつなげる活動をしています。子供たちの長所を探して発見する機会があれば、自尊心や思いやり、対人関係や社会性をのばすことができる、という信念に基づいています。動物と人の心のつながりが双方にとって良い効果をもたらしてくれること、それが私達のアニマルセラピー活動の目指すところでもあります。みなさん是非遊びに来てくださいね。

つばさクリニック 看護師 石川 薫

（感想 中学生 むぎ）アニマルセラピーには大きい犬から小さい犬までいろんなわんちゃんがいて、リードを持たせてもらったりできて楽しかったです。

猛禽類によるアニマルセラピー

一般社団法人 愛知県鍼灸マッサージ師会
有志の会御鷹組代表 中井雄二

日本では、西暦900年頃には鷹狩に使う鷹に鍼灸治療をしていました。（※群書類従に文献あり。）その当時の医療は鍼灸以外に漢方薬、煎じ薬が主な医療でした。非常に大切にされていた鷹は身分の高い人間と同じ医療を受け、調教した鷹に鍼灸マッサージを施し、体調を整え獲物を捕れる鷹にしていました。昔から権力者が鷹を好んだのは、翼を持ち自由に羽ばたけば逃げることも可能であるのに人の手に戻り、本来単独で行動し群れを成さない性を持つのに人の意に沿い狩りをする！権力で人や物をどうにでもできる権力者が「鷹を思うように扱う」という事に没頭し心酔した、とも云われています。それほど鷹だけは、権力者でも思うようにいかない、難しいと思わせる魅力ある高貴な存在でした。現代では鷹は合法な手段で手に入れば誰でも飼育は出来る時代です。鷹やフクロウなどの猛禽類を通じて、少しでも心の癒しになればと、今後も活動を続ける所存です。

（感想 小2 悠紀丸）たかが、やねまでとぶところや、うでにのせるところがたのしかった。



フリースクールは今

スタッフ 巽 幸代



「最近くる子がすくないね。」スタッフの間で交わされる言葉です。特に午前中はガランとしていてスタッフのみで大富豪をやることもしばしばです。「ここに来たからには大富豪をやらずには帰られぬ。」実はのばす会は大人にとっても居場所なのです。真剣に学習してみたい人、誰かととことんおしゃべりしたい人、いつでも大歓迎です。そんななか、現役高校生がテストだから、今日は学校が休みだからと訪ねてきます。勉強が難しく困っていたり、テスト前で焦っていたりとさまざまですが、そんな時にはホッとできる場所にのばす会がなったらいいと思います。成人になった卒業生もひょっこり顔を見せてくれます。背がぐんと伸びていたり、とてもきれいになったりして「どちら様ですか」と思わず、質問したりですが、スタッフも高齢になり、記憶力が衰えていますのでご容赦ください。

夏休み寺子屋の様子

スタッフ 伊藤里香

猛暑の中、7日間開催した夏休みの寺子屋には、小中高生 23 名が元気に過ごしました。日本福祉大学の2年生が、市民性を育む目的としてサービ斯拉ーニング活動に今年も3名が参加しました。他にもボランティアとして、バルーンアートを教えてくれたり、地域活動で繋がった大学生、フリースクールスタッフ、保護者の方が一緒に勉強したり遊んでくれました。皆さんありがとうございました。

フリースクールに通う子ども達にも毎回寺子屋を案内していますが、今回初めて自らの意思で参加してくれた中学生がいました。いつもと違う大人数の雰囲気に対し戸惑いながらも、小学生と一緒に遊んだり、スタッフの手伝いをしてくれたりと、頼もしい姿を見せてくれました。また、ハートルームに低学年から参加している高校生が、いつもは仲良しの高校生と過ごしていましたが、小学生に寄り添って一緒にアイロンビーズをしてくれたりと、感慨深い様子が垣間見れたことが嬉しく、のばす会の寺子屋という居場所の持つ力だと、改めて実感しました。



「自分が正しい」と思っていないませんか？自分が「良いことをしている」と思っている時こそ周囲の考えを取り入れよう。

臨床心理士 米村 高穂

人の支援や教育に関わっていると、相手を思うあまり熱量が上がることがありますが、中にはいきすぎた指導がハラスメントや虐待に繋がることがあります。しかも、加害者側に直接問題を指摘しても自分の非を認めなかったり、気付いていないケースもあるようです。そう言われて皆さんが思いつくのは、昨今ニュースで取り上げられている知事や市長のハラスメント問題ではないでしょうか。中には、罪の意識があるのか疑うような態度もあったのは、大変印象的だったと思います。このように、人は、自分がやっていることは良いことだと思っている時こそ、視野が狭くなり自分の間違いに気づけないことがあります。宗教の勧誘問題やネズミ講を勧める人も、根底にある問題は似ていると思います。

このような人に共通するのは、相手の視点や、その時代に共通する考えなどを考慮せず、自分の視点だけでモノを言うことです。若い方が年輩世代向けの「それは昭和の考えで、令和には通じない」という違和感も、年輩世代が自分の経験だけで言っていて、価値観をアップデートできていないからかもしれません。「不登校は甘えだ！」と言う人に、どれだけ説明しても伝わらず、傷ついた経験をされた保護者もいらっしゃるでしょう。

私はこのような一方的な人を「自分のモノサシだけでモノを言う」と表現しています。このような方への理解活動は不毛に終わることが多いようです。このため、「せめて自分だけは」と考えるのも一つではないでしょうか。「自分は正しいんだ」と、自分のモノサシだけで考えている状態に陥っていないかを振り返ることが大切でしょう。世の中に絶対ということはあり得ないですし、相手にもモノサシはあるわけですから、自分のモノサシだけでは限界があると思います。一所懸命になれば、どうしても自分のモノサシだけで突っ走りやすくなるのは誰でも起こりえることです。だからこそ、「こうした方がいい！」と断定的な物言いをする人ではなく、冷静に多面的にアドバイスをしてくれる人に相談するのが良いかもしれません。積み重ねてきた人生経験も貴いですが、大切だからこそ縛られて見えにくくなることもあるでしょう



日本福祉大学大林ゼミ生活・学習支援活動

月1回、大学生が温かい食べ物を作り、のばす会の皆さんと一緒に食べる活動を行っています。二部学習支援の時間に行っていますので、できれば学習支援も行い、時には一緒に作って食べる日があってもいいなと思っています。食べるだけでも大歓迎です。

寄附でいただいたさつまいもを豚汁に入れ、おにぎりの具はこども達に自分で選んでもらい、握ってもらった日もありました。親子で見学にいらしていた方には「もやしのひげ」を取っていただき、一緒に焼きそばを作って食べました。他にこれまで作った料理は、お好み焼き、

カレーライス、そうめん、ホットケーキです。メニューの希望があれば遠慮なく声をかけてください。ぜひ一緒に食べましょう！先日、食後に子ども達とスタッフ、大学生で「大富豪」をやりました。のばす会ルールがあり、頭脳戦です。大学生は全敗。どうすれば勝てるかを子ども達から伝授してもらい、少しずつ、強くなりました。遊びを通してみなさんと関わることができればいいなと思っています。

今、私は、フリースクールについて卒業論文に取り組んでいます。生き生きとした表情で過ごす子ども達の姿を多く目にし、子ども達にとって、のばす会は、家や学校以外の居場所であると思いました。また、のばす会でゆっくりと過ごし、自分と向き合い、学習や今後の人生について考えるようになるというプロセスを垣間見ることができました。のばす会に通うことで子ども達が自分の人生を主体的に生きることができるようになるのではないかと考え、フリースクールについてさらに探求してみたいと考えています。そして、のばす会のような素敵な居場所がこれからも続いていくために、フリースクールの今後の在り方について考察していきたいと考えています。この、のばす会さんと関わるようになったことも何かの縁だと思います。この出会いを大切にこれからもつなげていければと思います。

日本福祉大学 社会福祉学部 人間福祉専修 大林ゼミ 4年 山中つかさ

社会見学・セントレアへ

スタッフ 村瀬明子

ようやく秋らしくなってきた11月12日、4年ぶりに社会見学ができました。行き先は、中部国際空港・セントレアです。今回は、①飛行機を見る。②電車に乗る、切符を買う。③コンビニで買い物をする。という目的がありました。参加者はスタッフ合わせて7名でした。参加した子どものお母さんの話によると、電車に乗る機会はめったにないそうです。

券売機、自動改札機など、戸惑うかと思いましたが、難なく通過しました。次は、コンビニで昼ご飯を買う体験です。「何が食べたいの?」「焼きそば!」「なるほど、じゃあ、これなんかはどう?」迷いなく、すんなり買えました。上出来だと思いました。

そして、いよいよ飛行機の実物展示場へ。展示場は、空港の一番端っこにあります。動く歩道を使って行きました。ボーイング787を見て、第一声。「うわー、大きいねえ。」コックピットの中にも入れました。「すごい!」コックピットの中から下を見ると、ビルの3階くらいの高さから見えているようでした。やっぱり、飛行機は大きいです。

最後にスカイデッキにも行きました。お天気も良く飛行機の離発着がよく見えました。一緒に行ったスタッフは、疲れてややばて気味でしたが、参加した子どもはまだまだ元気でした。「満足した!」と言って帰って行きました。

自分の周り以外にも世界は広がっていることを感じてほしいと思っています。そして、楽しいことを一杯増やしてほしいと願っています。秋の社会見学でした。



のばす会「講演会&トークセッション」の案内

- 1 テーマ 居場所でパワーアップしよう
- 2 日時 令和7年1月26日(日)14時~16時(開場13時45分)
- 3 会場 アイプラザ半田2階小ホール
- 4 内容 (1) 江村和彦教授(日本福祉大学教育・心理学部教授)と学生によるお話
(2) 野尻紀恵教授(日本福祉大学社会福祉学部教授・学長補佐)によるお話
(ちょっと休憩)
(3) 野尻教授と江村教授、学生2名によるトークセッション
- 5 定員 約100名 料金 無 料

不登校・引きこもりで悩んでいる保護者、関心のある方などでも

東海ろうきんNPO労金寄付システムについてのお願い

東海ろうきんがあなたの「何とかしたい」「力になりたい」という想いをNPOに託して実現させるボランティア活動を展開しています。寄付は東海ろうきんの普通預金から自動振替されます。

寄付額は毎月100円から手数料なしで希望の金額で無理なく寄付できます。のばす会も寄付先に入っていますので、ぜひ活用して応援してください。申し込みは最寄りの東海ろうきんにお問い合わせください。

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにご協力を！

「イオンデー」（毎月11日）にイエローレシートの合計金額の1%をイオンギフト券でいただいています。今年は7,500円あり、文具や遊び道具を買わせていただきました。イオン半田店に黄色いレシートを入れる箱がありますので、ぜひご協力下さい。

書き損じはがきと未使用の切手の回収事業

書き損じはがきと未使用の切手を回収して、在籍した人たちや相談に来られた方たちへの講座等の案内やニュースレター等の通信費に充てています。これまでにご協力いただいた皆様ありがとうございました。これからもご協力よろしくお願いいたします。

今後の予定と活動

のばす会の終業と始業 終業：12月20日（金）始業：令和7年1月7日（火）

冬休み寺子屋 12月24日（火）～26日（木） 13時～16時

のばす会文化祭講演会 令和7年1月26日（日）アイプラザ半田小ホール 開場13時45分開始14時から

のばす会 終業：3月21日（金）

卒業、進級を祝う会 3月22日（土）研修室10時から12時

ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。

＜寄付者の皆さま＞ 令和6年8月～11月（掲載可の方々です） 順不同 敬称略

藤井美月、加藤浩康、内田榮一、清澤雅章、田中知子、遠藤恵美、山内睦代、黒木伊津子、尾州寮有志
伊藤千絵、榊原友恵、藤本哲史、佐野敏行、石川まさ恵、稲生俊彦、柴田久仁子、竹内治枝

＜ろうきん寄付システムの皆様＞ ＊毎月のご寄付ありがとうございます。

＜団体寄付の皆様＞（株）ウィダー（前田秀宝）、ホテルやごべい（坂口いつき）

＜助成金＞半田市子ども育成課70,000円（夏休み寺子屋）

＜物品の寄付＞＊半田市社会福祉協議会フードバンク（教材、教具）、ブルーベリーハート知多（サツマイモ）、ハイチュウなどのお菓子やお土産、文具、果物など多くの方からのご寄付ありがとうございました。

＜書き損じはがき・未使用切手のご寄付の皆様＞匿名3名

相談に来られた方や過去在籍された方の通信費に使わせていただきます。

＜こどもサポート証券ネットによる支援物資＞

- ・岡三証券KK（お米5キロ2袋）
- ・今村証券KK（カップ麺他12個）、岩井コスモ証券KK（レトルトカレー10個）

皆さんの寄付でのばす会は成り立っています。ご支援ください。
年会費・寄付金の振込先 ☐年会費2,000円 ☐寄付金1口1,000円から

①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2102161

名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549

名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
代表理事 村瀬明子

③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号00810-9-154412

加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

スタッフ募集！

一緒に学習したり、遊んだりして、寄り添ってくれる人 週に1回でもかまいません。詳しくは下記までご連絡ください。

連絡先

080-1622-5717